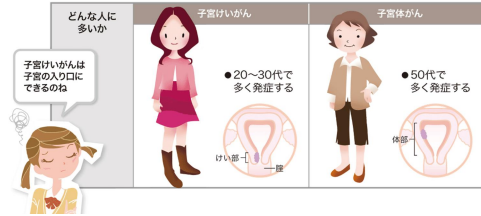


知っておきたい子宮がん

子宮がんには2つの種類があります。

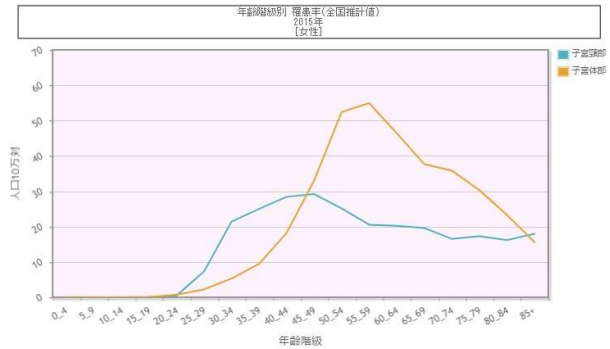
●子宮のがんには、「子宮けいがん」と「子宮体がん」があります。



子宮頸がんは、20～30 歳代で発生する方が増えてきています。

子宮体がんは、閉経後の 50～60 歳代の人に多くみられ、子宮がん全体に占める割合が年々増えてきています。

子宮がんには、子宮の入り口付近にできる子宮頸がんと子宮の中にできる子宮体がんがあります。



資料：国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」
Source: Cancer Information Services, National Cancer Center, Japan

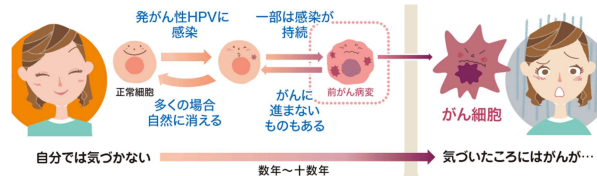
性交渉によって感染する HPV (ヒトパピローマウイルス) が関連する子宮頸がん

女性ホルモン、生活習慣と関係が深い子宮体がん

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス (HPV) に持続的に感染する事が原因と考えられています。HPV は性交渉により感染する、

HPV 感染から子宮頸がんになるまで

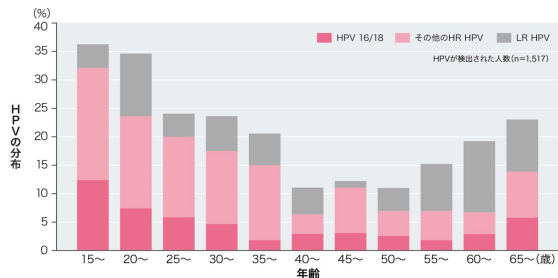
ありふれたウイルスです。多くはウイルスに感染しても、免疫機能によってウイルスは排除されます。けれども中にはウイルスが排除されずに長期間感染が続き、子宮頸部の細胞に癌化が生じることがあります。



子宮頸がんは、初期にはほとんど症状がないことが多いです。性交時の出血や、臭いの強いおりものなどの症状は、ある程度がんが大きくなってから現れます。子宮頸がんやその前段階の異形成は診察や検診で容易に発見

健常な女性からの HPV の検出率

できます。ごく早期に発見できれば子宮を温存する治療も可能になります。特に妊娠、出産前の若い方は検査を受けることがとても大切です。10 代、20 代の女性では 30% 以上から HPV が検出されます。80% の女性が一生のうち一度は感染するとも言われています。



子宮体がんは、多くはエストロゲンという女性ホルモンが影響していると考えられています。そのため、閉経が遅い人や出産が少ない人に多い傾向があります。肥満、高血圧、糖尿病、食生活の欧米化などの生活習慣とも関連していると言われています。子宮体がんの場合は、初期の段階から不正出血がみられることが多く、進行すると腹痛なども現れます。閉経後に不正出血がある場合は特に注意が必要です。また、閉経期における月経不順との区別がつきにくく、受診が遅れ、発見が遅れることもあります。

検査で早期発見を



早期に見つければ侵襲の少ない腹腔鏡手術が可能です



子宮体がんは早期発見により、手術で根治することが可能な癌です。また、初期であれば腹腔鏡による低侵襲手術も可能です。不正出血がある場合は早めに婦人科を受診しましょう。通常の外来で検査を行い診断できます。

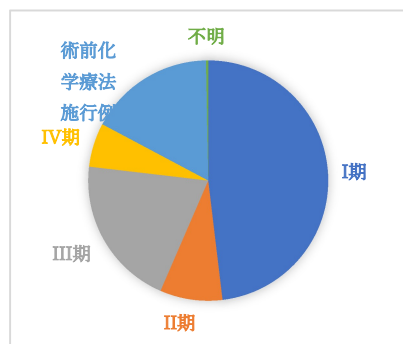
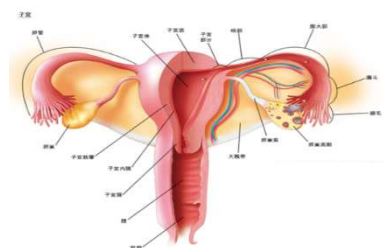
進行の早い卵巣がん

卵巣がんは、卵巣に発生したがんです。卵巣に発生する腫瘍

(しゅよう)には、良性と悪性、その中間的な境界悪性というものがあります。卵巣に腫瘍ができたからといって、卵巣がんとは限りません。

卵巣は子宮と骨盤の間に、血管や靭帯でぶらさがった臓器です。子宮や胃のように、外から直接みることや検査がで

正常卵巣



卵巣癌治療患者進行期分布 (2019)

日本産婦人科学会腫瘍委員会報告より

きない臓器であり、画像の検査で悪性の可能性が疑われた場合、手術で摘出して診断することになります。卵巣がんは、はじめはほとんど自覚症状がありません。おなかが張る、しこりが触れる、食欲の低下などの症状があつて見つかることが多いのですが、卵巣はおなかの中に露出している臓器であるため進行が速いこともあり、このようなときにはすでにがんが進行していることも少なくありません。急激なおなかの張りや痛みなど、気になる症状がある場合には、早めに受診することをお勧めし

ます。

卵巣がんって遺伝する？

卵巣がんの原因については複数の要因が関連しているといわれています。

その中で、約 10%は遺伝的要因によるものと考えられていて、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）と呼ばれます。家族に乳がんや卵巣がん罹患した方が多い場合は注意が必要です。原因遺伝子（*BRCA1* 遺伝子あるいは *BRCA2* 遺伝子）を調べることや、遺伝子に異常がある場合は定期的にチェックを行い、場合によっては卵巣・卵管を切除することで発症を予防するという選択肢が考慮されます。ハリウッド女優のアンジェリーナジョリー氏が、HBOC であり乳房と卵巣・卵管の予防切除を受けたことを公表し注目を集めました。

卵巣子宮内膜症、チョコレート嚢腫がある場合

その他、子宮内膜症による卵巣チョコレート嚢腫からも、癌が発生することが知られてい



子宮内膜症 (看護 roo!より転載)

ます。日本婦人科腫瘍学会によると、チョコレート嚢腫に対して手術が行われた症例の調査では、全体の 3.4%に卵巣がんの合併が見られました。がんの合併率は年齢とともに高くなり、40 歳代では 4%と報告されています。子宮内膜症の症状は月経痛です。月経痛が以前よりも強くなっている、薬を飲んでも効きにくい、学校や仕事を休んでしま

うほど痛い、などの症状があったら子宮内膜症の可能性もあります。我慢しないで一度、婦人科を受診しましょう。